

大学番号：私219

注3

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

認可 (JD)

立命館大学 国際関係学部

アメリカン大学・立命館大学国際連携学科 (国際連携学科)

注2

## 【認可 (JD)】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 立命館  
平成30年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局 (課) 名 国際関係学部事務室

職名・氏名 事務長 カタスカ 片岡 タツユキ 龍之

電話番号 075-465-1211

(夜間) 075-465-1212

F A X 075-465-1214

e-mail irpost01@st.ritsumeai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部 (平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科 (通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について (依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 国際関係学部

＜アメリカン大学・立命館大学国際連携学科（国際連携学科）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	23
6. 留意事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	41

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 立命館

【連携外国大学の設置者】アメリカ合衆国 American University

## (2) 大学名

立命館大学

【連携外国大学の名称】

American University

## (3) 大学の位置

〒603-8577

京都府京都市北区等持院北町56番地の1

(〒604-8520 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町8番地)

【連携外国大学の本部の位置】

4400 Massachusetts Avenue, NW Washington, DC 20016 United States of America

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(モリシマ トモミ) 森島 朋三 (平成29年7月)		
学長	(ヨシダ ミキオ) 吉田 美喜夫 (平成27年1月)		
学部長	(キミジマ アキヒコ) 君島 東彦 (平成26年4月)		
副学部長	(アタカ ヒロアキ) 安高 啓朗 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際関係学部 アメリカン大学・ 立命館大学国際連携学科 学士(グローバル国際関係学)	文学関係 法学関係 経済学関係	4年	25人 <360>	- 年次人	100人 <1440>	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。  
 ・ < >内の数字は, 母体となる学部等の全体の入学定員を記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員超過率	備考
	4月入学	6月入学	4月入学	6月入学	4月入学	6月入学	4月入学	6月入学		
A 入学定員	25人 ( - ) [ - ]	25人 ( - ) [ - ]	25人 ( - ) [ - ]	25人 ( - ) [ - ]	25人 ( - ) [ - ]	25人 ( - ) [ - ]	25人 ( - ) [ - ]	25人 ( - ) [ - ]	0.20倍	アメリカン大学から学修を開始するアメリカンホーム学生については, 6月に入学を予定しており, 現状, 志願者・受験者数250名, 合格者数26名であり, 入学手続き中である。入学者数は未定のため, 入学定員超過率は4月入学のみ反映している。
志願者数	8 ( - ) [ 5 ]	250 ( - ) [ 250 ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]		
受験者数	7 ( - ) [ 4 ]	250 ( - ) [ 250 ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]		
合格者数	5 ( - ) [ 2 ]	26 ( - ) [ 26 ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]		
B 入学者数	5 ( - ) [ 2 ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]	( - ) ( - ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.20									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 (例) 「春季入学」、「その他の学期」については, 各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。  
 (例) 「春季入学」→「4月入学」, 「10月入学」等  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**で記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	4月入学	6月入学	4月入学	6月入学	4月入学	6月入学	4月入学	6月入学	
1年次	5 [ 2 ] ( - )	[ ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/		/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	5 [ 2 ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。  
(例) 「春季入学」→「4月入学」、「10月入学」等
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	5人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合計	5人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際関係学部 アメリカン大学・立命館大学国際連携学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任
					必修	選択	教員	准教員	講師	助教	助手	
基礎科目	ANTH-225 Language and Human Experience		2後	アメリカン大学	3				1			
	ANTH-250 Human Origins		2後	アメリカン大学	3				1			
	ARTH-105 Art: The Historical Experience		1前・後	アメリカン大学	3				1			
	ARTS-100 Art: The Studio Experience		1前・後	アメリカン大学	3			1				
	BIO-100 Great Experiments in Biology		1前・後	アメリカン大学	4			1				
	CHEM-100 The Molecular World		1前・後	アメリカン大学	4				1			
	COMM-105 Visual Literacy		1前・後	アメリカン大学	3				1			
	ENVS-150 The Sustainable Earth		1前・後	アメリカン大学	4					1		
	HIST-110 Renaissance and Revolutions: Europe, 1400-1815		1前・後	アメリカン大学	3					1		
	HPRM-205 Introduction to Nutrition		2前・後	アメリカン大学	3					1		
	JLC-110 Western Legal Tradition		1前・後	アメリカン大学	3			1				
	LIT-125 Great Books That Shaped the Western World		1前・後	アメリカン大学	3				1			
	LIT-225 African Literature		2後	アメリカン大学	3					1		
	MATH-150 Finite Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	3			1				
	MATH-151 Finite Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	3			1				
	MATH-154 Great Ideas in Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	4				1			
	MATH-155 Elementary Mathematic Models		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	3				1			
	MATH-160 Applied Precalculus		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	3				1			
	MATH-170 Precalculus Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	3			1				
	MATH-211 Applied Calculus I		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	4					1		
	MATH-221 Calculus I		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	4			1				
	MATH-222 Calculus II		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	4				1			
	MATH-310 Linear Algebra		1・2・3・4前	アメリカン大学	3			1				
	MATH-313 Calculus III		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	4					1		
	MATH-321 Differential Equations		1・2・3・4後	アメリカン大学	3			1				
	MATH-401 Probability		1・2・3・4後	アメリカン大学	3			1				
	MATH-403 Foundations of Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	3					1		
	MATH-404 Advanced Calculus of Several Variables		1・2・3・4後	アメリカン大学	3			1				
	MATH-405 Mathematical Logic		1・2・3・4後	アメリカン大学	3				1			
	MATH-410 Geometry		1・2・3・4後	アメリカン大学	3				1			
MATH-412 Introduction to Modern Algebra		1・2・3・4後	アメリカン大学	3			1					
MATH-413 Rings and Fields		1・2・3・4前	アメリカン大学	3				1				
MATH-415 Number Theory		1・2・3・4後	アメリカン大学	3				1				
MATH-420 Introduction to Analysis		1・2・3・4後	アメリカン大学	3			1					
MATH-421 Measure Theory and Integration		1・2・3・4前	アメリカン大学	3			1					
MATH-440 Topology		1・2・3・4後	アメリカン大学	3					1			
MATH-450 Complex Analysis		1・2・3・4前	アメリカン大学	3			1					
MATH-451 Partial Differential Equations		1・2・3・4前	アメリカン大学	3					1			

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任
					必修	選択	教員	准教員	講師	助教	助手	
基礎科目	ANTH-225 Language and Human Experience		2後	アメリカン大学	3					1		
	ANTH-250 Human Origins		2後	アメリカン大学	3					1		
	ARTH-105 Art: The Historical Experience		1前・後	アメリカン大学	3					1		
	ARTS-100 Art: The Studio Experience		1前・後	アメリカン大学	3			1				
	BIO-100 Great Experiments in Biology		1前・後	アメリカン大学	4			1				
	CHEM-100 The Molecular World		1前・後	アメリカン大学	4				1			
	COMM-105 Visual Literacy		1前・後	アメリカン大学	3				1			
	ENVS-150 The Sustainable Earth		1前・後	アメリカン大学	4					1		
	HIST-110 Renaissance and Revolutions: Europe, 1400-1815		1前・後	アメリカン大学	3					1		
	HPRM-205 Introduction to Nutrition		2前・後	アメリカン大学	3					1		
	JLC-110 Western Legal Tradition		1前・後	アメリカン大学	3			1				
	LIT-125 Great Books That Shaped the Western World		1前・後	アメリカン大学	3				1			
	LIT-225 African Literature		2後	アメリカン大学	3					1		
	MATH-150 Finite Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	3			1				
	MATH-151 Finite Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	3			1				
	MATH-154 Great Ideas in Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	4				1			
	MATH-155 Elementary Mathematic Models		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	3				1			
	MATH-160 Applied Precalculus		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	3				1			
	MATH-170 Precalculus Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	3			1				
	MATH-211 Applied Calculus I		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	4					1		
	MATH-221 Calculus I		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	4			1				
	MATH-222 Calculus II		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	4				1			
	MATH-310 Linear Algebra		1・2・3・4前	アメリカン大学	3			1				
	MATH-313 Calculus III		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	4					1		
	MATH-321 Differential Equations		1・2・3・4後	アメリカン大学	3			1				
	MATH-401 Probability		1・2・3・4後	アメリカン大学	3			1				
	MATH-403 Foundations of Mathematics		1・2・3・4前・後	アメリカン大学	3					1		
	MATH-404 Advanced Calculus of Several Variables		1・2・3・4後	アメリカン大学	3			1				
	MATH-405 Mathematical Logic		1・2・3・4後	アメリカン大学	3				1			
	MATH-410 Geometry		1・2・3・4後	アメリカン大学	3				1			
MATH-412 Introduction to Modern Algebra		1・2・3・4後	アメリカン大学	3			1					
MATH-413 Rings and Fields		1・2・3・4前	アメリカン大学	3				1				
MATH-415 Number Theory		1・2・3・4後	アメリカン大学	3				1				
MATH-420 Introduction to Analysis		1・2・3・4後	アメリカン大学	3			1					
MATH-421 Measure Theory and Integration		1・2・3・4前	アメリカン大学	3			1					
MATH-440 Topology		1・2・3・4後	アメリカン大学	3					1			
MATH-450 Complex Analysis		1・2・3・4前	アメリカン大学	3			1					
MATH-451 Partial Differential Equations		1・2・3・4前	アメリカン大学	3					1			





科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	開講年度	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
国際政治	SISU-105 World Politics FA3		1前・後	アメリカン大学	3						1				
	Theories of International Relations Introductory Seminar I		1後	立命館大学	2			1							
	Theories of International Relations Introductory Seminar I		1前	立命館大学	2			1							
	SISU-106 First Year Seminar	○	1後	アメリカン大学・立命館大学	3			1							
	SISU-140 Cross-Cultural Communication		1前・後	アメリカン大学	3					1					
	Japanese Culture	○	1後	アメリカン大学・立命館大学	2			1							
	Cultural Awareness and Communication	○	1後	アメリカン大学・立命館大学	2			1							
	SISU-300 Introduction to International Economics		3前・後	アメリカン大学	3			1							
	ECON-370 International Economics		3前・後	アメリカン大学	3						1				
経済学	ECON-371 International Economics: Trade		3前	アメリカン大学	3			1							
	ECON-372 International Economics: Finance		3後	アメリカン大学	3			1							
	International Finance		3後	立命館大学	2			1							
	International Trade and Investment		3前	立命館大学	2			1							
	SISU-206 Introduction to International Relations Research		2前・後	アメリカン大学	3						1				
	Introductory Seminar II		1後	立命館大学	2						1	0			
	Global Studies Research		2後	立命館大学	2			1							
	Advanced Seminar (Research Methods)		3前	立命館大学	2			2	6						
	SISU-306 Advanced International Studies Research		3前・後	アメリカン大学	3						1				
リサーチメソッド科目	SISU-206 Introduction to International Relations Research		2前・後	アメリカン大学	3						1				
	Introductory Seminar II		1後	立命館大学	2						1	0			
	Global Studies Research		2後	立命館大学	2			1							
	Advanced Seminar (Research Methods)		3前	立命館大学	2			2	6						
	SISU-306 Advanced International Studies Research		3前・後	アメリカン大学	3						1				
	外国語科目	日本語 I-1 (総合)		1前・後	立命館大学	3			1				0		1
		日本語 I-2 (総合)		1前・後	立命館大学	3			1				0		1
		日本語 II (ライティング)		1前・後	立命館大学	1			1				0		1
		日本語 II (総合)		1前・後	立命館大学	5			1				0		1
		日本語 III (ライティング)		1前・後	立命館大学	1			1				0		1
		日本語 III (総合)		1前・後	立命館大学	5			1				0		1
		日本語 IV (ライティング)		1前・後	立命館大学	1			1				1		1
		日本語 IV (総合)		1前・後	立命館大学	5			1				1		1
		日本語 V (ライティング)		1前・後	立命館大学	1			1				1		1
		日本語 V (総合)		1前・後	立命館大学	5			1				1		1
		日本語 VI (ライティング)		1前・後	立命館大学	1			1				1		1
		日本語 VI (総合)		1前・後	立命館大学	3			1				1		1
		日本語 VII (聴解口頭)		1前・後	立命館大学	2			1				1		1
		日本語 VII (聴解口頭a)		1前	立命館大学	1			1				1		5
		日本語 VII (聴解口頭b)		1後	立命館大学	1			1				1		5
		日本語 VII (読解a)		1前	立命館大学	1			1				0		5
		日本語 VII (読解b)		1後	立命館大学	1			1				0		5
		日本語 VII (文章表現a)		1前	立命館大学	1			1				0		8
		日本語 VII (文章表現b)		1後	立命館大学	1			1				0		8
		日本語 VIII (アカデミック日本語a)		1前	立命館大学	1			1				1		1
		日本語 VIII (アカデミック日本語b)		1後	立命館大学	1			1				1		1
		日本語 VIII (キャリア日本語a)		1前	立命館大学	1			1				1		1
		日本語 VIII (キャリア日本語b)		1後	立命館大学	1			1				1		1
		JAPN-114: Elementary Japanese I		1後	アメリカン大学	5					1				
		JAPN-115: Elementary Japanese II		1前	アメリカン大学	5					1				
JAPN-214: Intermediate Japanese I			2後	アメリカン大学	5					1					
JAPN-215: Intermediate Japanese II			2前	アメリカン大学	5					1					
JAPN-314: Advanced Japanese I			3後	アメリカン大学	3					1					
JAPN-315: Advanced Japanese II			3前	アメリカン大学	3					1					
JAPN490: Independent Research in Japanese			4前・後	アメリカン大学	1,2,3,4,5,6					1					
G a 専 門 入 門 科 目 G a m G n d i c a o b a a t i v e	SISU-280 Ruling the World: Comparative and Global Governance		2前・後	アメリカン大学	3			1							
	Introduction to the United Nations		2前	立命館大学	2					1		0			
	Comparative and Global Governance		2前	立命館大学	2						1				

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	開校年度	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担			
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
CGR I専 ue ad門 lnc e入 tde n門 urr t科 rre i目 e . t and .	SISU-260 Identity, Race, Gender, and Culture		2前・後	アメリカン大学	3			1								
	Race and Ethnicity in the Modern World		2前・後	立命館大学	2					1						
	Introduction to Gender Studies		2前・後	立命館大学	2			1								
RCS G専 e o e l門 snc o入 of b 門 ll r a科 u i i l目 t c t P i t y e o . a n d c .	SISU-210 Peace, Global Security, and Conflict Resolution		2前・後	アメリカン大学	3				1							
	Security Studies		2前・後	立命館大学	2			1								
	Introduction to peace studies		2前・後	立命館大学	2			1								
固有専 門科 目 G l o b a l a n d C o m p a r a t i v e G o v e r n a n c e	SISU-381 African Political Institutions		3前	アメリカン大学	3			1								
	SISU-383 Overview of the European Union		3前・後	アメリカン大学	3				1							
	SISU-385 Islam and Democracy		3後	アメリカン大学	3					1						
	SISU-386 Contemporary Africa		3前・後	アメリカン大学	3			1								
	SISU-387 Contemporary India		3後	アメリカン大学	3		1									
	SISU-393 International Relations Theory		3後	アメリカン大学	3				1							
	GOVT-315 Elections and Voting Behavior		3前・後	アメリカン大学	3			1								
	SISU-380 Topics in Global and Comparative Governance		3前・後	アメリカン大学	3			1								
	SISU-329 Global Economic Governance		3前	アメリカン大学	3					1						
	Global Civil Society and Development		3後	立命館大学	2			1								
	Global Sociology		3前	立命館大学	2			1								
	International Human Rights		2後	立命館大学	2			1								
	Global Simulation Gaming		2前	立命館大学	2			1								
	International Migration		3後	立命館大学	2					1						
	International Law		2後	立命館大学	2			1								
	Global Environmental Issues		2前	立命館大学	2			1								
International Organizations		3前	立命館大学	2					1							
Advanced Topics in International Relations		3後	立命館大学	3			1									
Special Lecture (GCG)		2後	立命館大学	2					1							
SISU-391 Internship		3・4前・後	アメリカン大学	1.2, 3.4, 5.6				1								
Internship		2・3・4前・後	立命館大学	2			1									
C固 u l t u r e I d e n t i t y . R a c e . G e n d e r . a n d	AMST-340 Community Activism and Regional Studies (approved topic)		3前・後	アメリカン大学	3				1							
	ANTH-210 Race and Racism FA3		3前・後	アメリカン大学	3				1							
	HPRM-441 Health Communication		3前・後	アメリカン大学	3					1						
	SISU-360 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture		3前・後	アメリカン大学	3					1						
	SISU-363 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Europe		3前・後	アメリカン大学	3				1							
	SISU-364 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Latin America		3前・後	アメリカン大学	3			1								
	SISU-365 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Middle East		3前・後	アメリカン大学	3		1									
	SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution		3後	アメリカン大学	3						1					
	SISU-369 Topics in Public Diplomacy		3前・後	アメリカン大学	3			1								
	CGR I専 ue ad門 lnc e入 tde n門 urr t科 rre i目 e . t and .	SISU-260 Identity, Race, Gender, and Culture		2前・後	アメリカン大学	3			1							
		Race and Ethnicity in the Modern World		2前・後	立命館大学	2					1					
		Introduction to Gender Studies		2前・後	立命館大学	2			1							
	RCS G専 e o e l門 snc o入 of b 門 ll r a科 u i i l目 t c t P i t y e o . a n d c .	SISU-210 Peace, Global Security, and Conflict Resolution		2前・後	アメリカン大学	3				1						
		Security Studies		2前・後	立命館大学	2			1							
		Introduction to Peace Studies		2前・後	立命館大学	2			1							
	固有専 門科 目 G l o b a l a n d C o m p a r a t i v e G o v e r n a n c e	SISU-381 African Political Institutions		3前	アメリカン大学	3			1							
SISU-383 Overview of the European Union			3前・後	アメリカン大学	3				1							
SISU-385 Islam and Democracy			3後	アメリカン大学	3					1						
SISU-386 Contemporary Africa			3前・後	アメリカン大学	3			1								
SISU-387 Contemporary India			3後	アメリカン大学	3		1									
SISU-393 International Relations Theory			3後	アメリカン大学	3				1							
GOVT-315 Elections and Voting Behavior			3前・後	アメリカン大学	3			1								
SISU-380 Topics in Global and Comparative Governance			3前・後	アメリカン大学	3			1								
SISU-329 Global Economic Governance			3前	アメリカン大学	3					1						
Global Civil Society and Development			3後	立命館大学	2			1								
Global Sociology			3前	立命館大学	2			1								
International Human Rights			2後	立命館大学	2			1								
Global Simulation Gaming			2前	立命館大学	2			1								
International Migration			3後	立命館大学	2					1						
International Law			2後	立命館大学	2			1								
Global Environmental Issues			2前	立命館大学	2			1								
International Organizations		3前	立命館大学	2					1							
Advanced Topics in International Relations		3後	立命館大学	3			1									
Special Lecture (GCG)		2後	立命館大学	2					1							
SISU-391 Internship		3・4前・後	アメリカン大学	1.2, 3.4, 5.6				1								
Internship		2・3・4前・後	立命館大学	2			1									
C固 u l t u r e I d e n t i t y . R a c e . G e n d e r . a n d	AMST-340 Community Activism and Regional Studies (approved topic)		3前・後	アメリカン大学	3				1							
	ANTH-210 Race and Racism FA3		3前・後	アメリカン大学	3				1							
	HPRM-441 Health Communication		3前・後	アメリカン大学	3					1						
	SISU-360 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture		3前・後	アメリカン大学	3					1						
	SISU-363 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Europe		3前・後	アメリカン大学	3				1							
	SISU-364 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Latin America		3前・後	アメリカン大学	3			1								
	SISU-365 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture: Middle East		3前・後	アメリカン大学	3		1									
	SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution		3後	アメリカン大学	3						1					
	SISU-369 Topics in Public Diplomacy		3前・後	アメリカン大学	3			1								

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	開校年度	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任						
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手							
C 固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Internship	SISU-379 Topics in Human Rights, Identity, and Culture		3	アメリカン大学	3			1											
	SOCY-210 Power, Privilege, and Inequality FA4		2	アメリカン大学	3					1									
	SOCY-310 Language, Culture, Power		3	アメリカン大学	3			1											
	SOCY-351 Race and Ethnic Conflict: Global Perspectives		3	アメリカン大学	3						1								
	SOCY-553 Intersectionality: Theory and Research		4	アメリカン大学	3			1											
	SISU-393 International Relations Theory		3	アメリカン大学	3					1									
	Media and Society		3	立命館大学	2			1											
	Topics in Identity		3	立命館大学	2			1											
	Advanced Topics in International Relations		3	立命館大学	2			1											
	Special Lecture (IRGC)		2	立命館大学	2						1								
	SISU-391 Internship		3-4	アメリカン大学	1,2,3,4,5,6					1									
	Internship		2-3-4	立命館大学	2			1											
	固有専門科目 Peace, Global, and Security	SISU-310 Topics in Peace, Global Security, and Conflict Resolution		3	アメリカン大学	3			1										
		SISU-312 Governance, Development, and Security in Asia		3	アメリカン大学	3					1								
SISU-313 Transatlantic Security			3	アメリカン大学	3				1										
SISU-316 United States' Russian/Eurasian Security Relations			3	アメリカン大学	3				1										
SISU-318 Topics in Global Security and Foreign Policy			3	アメリカン大学	3				1										
SISU-319 Arab-Israeli Relations			3	アメリカン大学	3			1											
SISU-359 Environment, Conflict, and Peace			3	アメリカン大学	3					1									
SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution			3	アメリカン大学	3						1								
SISU-393 International Relations Theory			3	アメリカン大学	3					1									
IBUS-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum			4	アメリカン大学	3			1											
MGMT-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum			4	アメリカン大学	3			1											
RELG-475 Religion and Violence			4	アメリカン大学	3				1										
WGSS-350 Interpreting Gender in Culture : Gender and Violence			3	アメリカン大学	3					1									
Peace and Conflict Studies			3	立命館大学	2			1											
Advanced Topics in International Relations		3	立命館大学	2			1												
Global Simulation Gaming		2	立命館大学	2			1												
Special Lecture (PGSCR)		2	立命館大学	2			1												
SISU-391 Internship		3-4	アメリカン大学	1,2,3,4,5,6					1										
Internship		2	立命館大学	2			1												
C 固有専門科目 Identity, Race, Gender, and Internship	SISU-379 Topics in Human Rights, Identity, and Culture		3	アメリカン大学	3														
	SOCY-210 Power, Privilege, and Inequality FA4		2	アメリカン大学	3						1								
	SOCY-310 Language, Culture, Power		3	アメリカン大学	3			1											
	SOCY-351 Race and Ethnic Conflict: Global Perspectives		3	アメリカン大学	3							1							
	SOCY-553 Intersectionality: Theory and Research		4	アメリカン大学	3			1											
	SISU-393 International Relations Theory		3	アメリカン大学	3					1									
	Media and Society		3	立命館大学	2			1											
	Topics in Identity		3	立命館大学	2			1											
	Advanced Topics in International Relations		3	立命館大学	2			1											
	Special Lecture (IRGC)		2	立命館大学	2						1								
	SISU-391 Internship		3-4	アメリカン大学	1,2,3,4,5,6					1									
	Internship		2-3-4	立命館大学	2			1											
	固有専門科目 Peace, Global, and Security	SISU-310 Topics in Peace, Global Security, and Conflict Resolution		3	アメリカン大学	3						1							
		SISU-312 Governance, Development, and Security in Asia		3	アメリカン大学	3							1						
SISU-313 Transatlantic Security			3	アメリカン大学	3								1						
SISU-316 United States' Russian/Eurasian Security Relations			3	アメリカン大学	3									1					
SISU-318 Topics in Global Security and Foreign Policy			3	アメリカン大学	3										1				
SISU-319 Arab-Israeli Relations			3	アメリカン大学	3											1			
SISU-359 Environment, Conflict, and Peace			3	アメリカン大学	3											1			
SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution			3	アメリカン大学	3												1		
SISU-393 International Relations Theory			3	アメリカン大学	3													1	
IBUS-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum			4	アメリカン大学	3				1										
MGMT-471 Peace through Entrepreneurship and Global Business Practicum			4	アメリカン大学	3					1									
RELG-475 Religion and Violence			4	アメリカン大学	3													1	
WGSS-350 Interpreting Gender in Culture : Gender and Violence			3	アメリカン大学	3														1
Peace and Conflict Studies			3	立命館大学	2														1
Advanced Topics in International Relations		3	立命館大学	2														1	
Global Simulation Gaming		2	立命館大学	2														1	
Special Lecture (PGSCR)		2	立命館大学	2														1	
SISU-391 Internship		3-4	アメリカン大学	1,2,3,4,5,6														1	
Internship		2	立命館大学	2														1	



科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	開校年度	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
地域研究科目	SISU-212 China, Japan and the United States		2前・後	アメリカン大学	3						1		
	SISU-213 Contemporary Europe		2前	アメリカン大学	3				1				
	SISU-214 Contemporary Latin America		2前・後	アメリカン大学	3						1		
	SISU-215 Contemporary Middle East		2前・後	アメリカン大学	3				1				
	SISU-216 Contemporary Russia		2後	アメリカン大学	3				1				
	SISU-360 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture		3前・後	アメリカン大学	3						1		
	SISU-387 Contemporary India		3後	アメリカン大学	3			1					
	SPAN-210 Latin America: History, Art, Literature		2前・後	アメリカン大学	3				1				
	SPAN-355 Spanish Introductory Topics		3前・後	アメリカン大学	3					1			
	SPAN-357 Introduction to Latin American Literature		3前・後	アメリカン大学	3						1		
	SPAN-456 Spanish Topics		4前・後	アメリカン大学	3							1	
	SISU-296 Selected Topics: Non-recurring		2前	アメリカン大学	1.2, 3.4, 5.6				1				
	Japanese Politics		2前	立命館大学	2				1				
	Japanese Society		2後	立命館大学	2			1					
	Japanese Economy		2後	立命館大学	2			1					
	United States Politics and Foreign Policy		3後	立命館大学	2				1				
	Japan-United States Relations		2後	立命館大学	2				1				
	Special Lecture (Area Studies Course)		2前	立命館大学	2				1				
	Foreign Relations of Japan		3前	立命館大学	2			1					
	Business Administration of Japan		3後	立命館大学	2						1		
	Korean Studies		3前	立命館大学	2			1					
	Contemporary China		3前	立命館大学	2				1				
	Advanced topics in Area studies		2後	立命館大学	2			1					
South East Asian Studies		2前	立命館大学	2				1					
Modern Japanese History		2前	立命館大学	2				1					
Introduction to Area Studies		2前	立命館大学	2			1						
Kyoto and Japanese Arts		1前	立命館大学	2			1						
Japan and the west		1後	立命館大学	2				1				1	
SISU-391 Internship		3・4前・後	アメリカン大学	1.2, 3.4, 5.6						1			
Internship(Area Studies)		2・3・4前・後	立命館大学	2				1					
スニリアンキヤップ	SISU-419 Senior Capstone: International Studies		4前・後	アメリカン大学	3						1		
	Advanced Seminar		3・4後	立命館大学	2			2	6				
	Graduation Research		4後	立命館大学	2			2	6				
選択科目	Independent Study		3前・後	アメリカン大学	1.2, 3			1					
	Global Political Economy		2後	立命館大学	2			2					
	Introduction to Law		1前	立命館大学	2				1				
	Introduction to Natural Sciences		1前	立命館大学	2			1					1
	Introduction to Humanities		1後	立命館大学	2				1				1
	Development Studies		2後	立命館大学	2					1			
	Introduction to Linguistics		1前・後	立命館大学	2								1
Professional Workshop		2前	立命館大学	2							2		
地域研究科目	SISU-212 China, Japan and the United States		2前・後	アメリカン大学	3						1		
	SISU-213 Contemporary Europe		2前	アメリカン大学	3				1				
	SISU-214 Contemporary Latin America		2前・後	アメリカン大学	3						1		
	SISU-215 Contemporary Middle East		2前・後	アメリカン大学	3				1				
	SISU-216 Contemporary Russia		2後	アメリカン大学	3				1				
	SISU-360 Topics in Identity, Race, Gender, and Culture		3前・後	アメリカン大学	3						1		
	SISU-387 Contemporary India		3後	アメリカン大学	3			1					
	SPAN-210 Latin America: History, Art, Literature		2前・後	アメリカン大学	3				1				
	SPAN-355 Spanish Introductory Topics		3前・後	アメリカン大学	3					1			
	SPAN-357 Introduction to Latin American Literature		3前・後	アメリカン大学	3						1		
	SPAN-456 Spanish Topics		4前・後	アメリカン大学	3							1	
	SISU-296 Selected Topics: Non-recurring		2前	アメリカン大学	1.2, 3.4, 5.6				1				
	Japanese Politics		2前	立命館大学	2				1				
	Japanese Society		2後	立命館大学	2			1					
	Japanese Economy		2後	立命館大学	2			1					
	United States Politics and Foreign Policy		3後	立命館大学	2				1				
	Japan-United States Relations		2後	立命館大学	2				1				
	Special Lecture (Area Studies Course)		2前	立命館大学	2				1				
	Foreign Relations of Japan		3前	立命館大学	2			1					
	Business Administration of Japan		3後	立命館大学	2						1		
	Korean Studies		3前	立命館大学	2			1					
	Contemporary China		3前	立命館大学	2				1				
	Advanced Topics in Area Studies		2後	立命館大学	2			1					
Southeast Asian Studies		3前	立命館大学	2				1					
Modern Japanese History		2前	立命館大学	2				1					
Introduction to Area Studies		2前	立命館大学	2			1						
Kyoto and the Japanese Arts		1前・後	立命館大学	2			1						
Japan and the West		1前・後	立命館大学	2				1				1	
SISU-391 Internship		3・4前・後	アメリカン大学	1.2, 3.4, 5.6						1			
Internship(Area Studies Course: East Asia and the Pacific)		2・3・4前・後	立命館大学	2				1					
Internship(Area Studies)		2・3・4前・後	立命館大学	2				1					
スニリアンキヤップ	SISU-419 Senior Capstone: International Studies		4前・後	アメリカン大学	3						1		
	Advanced Seminar		3・4後	立命館大学	2			2	6				
	Graduation Research		4後	立命館大学	2			2	6				
選択科目	Independent Study		3前・後	アメリカン大学	1.2, 3			1					
	Global Political Economy		2後	立命館大学	2			2					
	Introduction to Law		1前・後	立命館大学	2				1				
	Introduction to Natural Sciences		1前・後	立命館大学	2			1					1
	Introduction to Humanities		1前・後	立命館大学	2				1				1
	Development Studies		2後	立命館大学	2					1			
	Introduction to Linguistics		1前・後	立命館大学	2								1
Professional Workshop		2前	立命館大学	2							2		

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
自由科目	Intensive English I		1期	立命館大学			1		1					
	Intensive English II		1期	立命館大学			1		1					
	Intensive English III		1期	立命館大学			1		1					
	Intensive English IV		1後	立命館大学			1		1					
	Intensive English V		1後	立命館大学			1		1					
	Intensive English VI		1後	立命館大学			1		1					

  

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配年次	開設大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
自由科目	Intensive English I		1期	立命館大学			1		1					
	Intensive English II		1期	立命館大学			1		0					1
	Intensive English III		1期	立命館大学			1		0					1
	Intensive English IV		1後	立命館大学			1		0					1
	Intensive English V		1後	立命館大学			1		0					1
	Intensive English VI		1後	立命館大学			1		0					1

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成30年度】**

<科目区分名称変更について>  
 ・アメリカン大学との協議の結果、分野名称「経済学」より適切な呼称である「国際経済学」に改めた。

<配当年次・開講セメスター変更について>  
 ・専門入門科目であるIntroduction to United Nations, Introduction to Gender Studies, Introduction to peace studiesについては、学生の履修時期の適切性等から鑑みて、配当年次を改め、1年次配当とした。  
 ・共同開設科目であるFirst Year Seminar (アメリカン大学において実施) については、教員配置等の関係から、1年次秋学期の実施予定を改め、1年次春学期に実施することとした。(年次進行上は変更ない)  
 ・コーホート科目・共同開設科目であるJapanese Culture, Cultural Awareness and Communicationについては、日米での学習スケジュールの調整の結果、学生の履修時期の適切性を鑑み、2年次配当に変更した。  
 ・基礎経済学分野、Macro economicsおよびEconomics for Global Studiesについては、学生の履修可能性の向上のため、前・後期開講とした。  
 ・地域研究科目であるKyoto and Japanese Arts, Japan and the Westについては、学生の履修可能性の向上のため、前・後期開講とした。  
 ・地域研究科目であるSoutheast Asian Studiesについては、学生の履修時期の適切性を鑑み、3年次配当に変更した。

<科目区分変更について>  
 ・Introduction to Linguistics およびProfessional Workshop について、アメリカン大学教養教育改革を受け、当初基礎科目に分類していたところ、当該分野科目としては削除し、選択科目として開講することとした。

<クラス数・担当者変更について>  
 ・基礎科目であるAcademic Skills I, II, IIIについては、科目担当体制および学外研究による不在のため科目担当者変更を行なうとともに、学生の履修の適切性(レベル設定等)を鑑み、開講クラス数を増加した。  
 ・基礎経済学分野、Macro economicsについては、科目担当体制の関係上、科目担当者を変更した。  
 ・固有専門科目であるIntroduction to the United Nations, Introduction to Gender Studiesについては、科目担当体制の関係上、科目担当者を変更した。  
 ・リサーチメソッド科目であるIntroductory Seminar IIについては、科目担当体制の関係上、担当者を変更した。  
 ・外国語科目である日本語I-1(総合)、日本語I-2(総合)、日本語II(ライティング)、日本語II(総合)、日本語III(ライティング)、日本語III(総合)、日本語IV(ライティング)、日本語IV(総合)、日本語V(ライティング)、日本語V(総合)、日本語VI(ライティング)、日本語VI(総合)、日本語VI(聴解口頭)について、科目担当体制の関係上、担当者の変更をおこなった。  
 ・外国語科目である日本語VII(聴解口頭a)、日本語VII(聴解口頭b)、日本語VII(読解a)、日本語VII(読解b)、日本語VII(文章表現a)、日本語VII(文章表現b)については、学部全体の教育内容充実のため、クラスを増加するとともに、科目担当体制の関係上、担当者を変更・追加。  
 ・その他科目であるIntensive English I, II, III, IV, V, VIについては、科目担当体制の関係及び、学外研究による不在のため科目担当者変更を行った。

<新規開設及び科目名称変更>  
 ・Special Lecture (Area Studies Courses: East Asia and the Pacific), Internship (Area Studies Courses: East Asia and the Pacific)について、地域研究科目の履修要件への対応のため、科目を新規開設した。  
 ・Introduction to The United Nations, Business administration of Japan, Advanced topics in Area Studies, South East Asia Studies, Kyoto and Japanese Arts, Japan and the westについては、英語表記の適切性から一部(大文字表記および同削除など)名称の微細変更を行なった。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡潔書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
立命館大学	0 科目	93 科目	6 科目	99 科目	0 科目 [ 0 ]	95 科目 [ 2 ]	6 科目 [ 0 ]	101 科目 [ 2 ]	削除2科目 追加4科目
アメリカン大学	0 科目	185 科目	科目	185 科目	0 科目 [ 0 ]	185 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	185 科目 [ 0 ]	
共同開設科目	3 科目	0 科目	0 科目	3 科目	3 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	3 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	立命館大学	日本語Ⅷ(アカデミック日本語a)	1	1	専門	選択	履修該当者が想定されなかったため、未開講。履修計画の妥当性から鑑み、2回生配当とする方向で検討している。
2	立命館大学	日本語Ⅷ(アカデミック日本語b)	1	1	専門	選択	履修該当者が想定されなかったため、未開講。履修計画の妥当性から鑑み、2回生配当とする方向で検討している。
3	立命館大学	日本語Ⅷ(キャリア日本語a)	1	1	専門	選択	履修該当者が想定されなかったため、未開講。履修計画の妥当性から鑑み、2回生配当とする方向で検討している。
4	立命館大学	日本語Ⅷ(キャリア日本語b)	1	1	専門	選択	履修該当者が想定されなかったため、未開講。履修計画の妥当性から鑑み、2回生配当とする方向で検討している。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	立命館大学	Introduction to Linguistics	2	1	一般	選択	アメリカン大学側での教養教育改革に伴い、選択科目として開講されることとなった。
2	立命館大学	Professional Workshop	2	2	一般	選択	アメリカン大学側での教養教育改革に伴い、選択科目として開講されることとなった。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

日本語Ⅷは、履修が可能となる学生が想定されなかったこともあり、開講を行わなかった。履修の構造上、2回生配当が妥当であると判断し、配当回生スケジュールを変更する方向で検討・調整を行なっている。当初、基礎科目として開講する予定であった「Introduction to Linguistics」および「Professional Workshop」については、アメリカン大学側の全学教養教育改革（Core Curriculum改革）に伴い、選択科目群において開講することが適当である旨、合意されたので、基礎科目群においては未開講とし、選択科目群において開講することとなった。学生に対しては、履修上齟齬のないよう、新入生オリエンテーションの際に丁寧に説明を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{6}{287} = \boxed{2.09} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。



3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 舎 敷 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	その他敷地より校舎敷 地へ変更555.13㎡増 (30)					
	校 舎 敷 地	921,395.92㎡ <del>920,840.79㎡</del>	㎡	㎡	921,395.92㎡ <del>920,840.79㎡</del>						
	運 動 場 用 地	93,310.74㎡	㎡	㎡	93,310.74㎡						
	小 計	1,014,706.66㎡ <del>1,014,151.53㎡</del>	㎡	㎡	1,014,706.66㎡ <del>1,014,151.53㎡</del>						
	そ の 他	390,346.81㎡ <del>389,738.06㎡</del>	㎡	㎡	390,346.81㎡ <del>389,738.06㎡</del>		面積錯誤修正142㎡減 OIC寄宿舎 1,301.82㎡ 増 校舎敷地へ変更 555.13㎡減 (30)				
	合 計	1,405,053.47㎡ <del>1,403,889.59㎡</del>	㎡	㎡	1,405,053.47㎡ <del>1,403,889.59㎡</del>						
(2) 校 舎	専 用	527,560.65㎡ <del>527,355.61㎡</del>	㎡	㎡	527,560.65㎡ <del>527,355.61㎡</del>	エレベータ増築、屋外トイ レ、事務所 205.04㎡ 増 (30)					
	( 527,355.61㎡)	( ㎡)	( ㎡)	( 527,355.61㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	129室 <del>128室</del>	演 習 室	560室 <del>528室</del>	実験実習室	802室 <del>796室</del>	情報処理学習施設	39室 <del>40室</del>	語学学習施設	21室 <del>29室</del>	存心館、興学館、コー ンクⅢ、アカスタイン、 OIC A棟の改修工事に 伴い、講義室、演習 室、実験実習室の増、 情報処理学習施設、語 学学習施設の減 (30)
										職員： 従事職員数の変更によ るもの。(30)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			専任教員の辞任・就任の ため (30)				
	国際関係学部 アメリカン大学・立命館大学国際連携学科			22 23 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体で共用  図書、学術雑誌、視聴 覚資料の増減分は算出 方法の誤りを補正。 (30)			
	国際関係学部	78,184 [32,828] <del>79,726 [33,400]</del>	19,910 [19,583] <del>4,138 [3,740]</del>	19,431 [19,413] <del>3,642 [3,512]</del>	9,597 <del>9,614</del>						
		78,184 [32,828] <del>(79,726 [33,400])</del>	19,910 [19,583] <del>(4,138 [3,740])</del>	19,431 [19,413] <del>(3,642 [3,512])</del>	9,597 <del>(9,614)</del>	( )	( )				
	計	78,184 [32,828] <del>79,726 [33,400]</del>	19,910 [19,583] <del>4,138 [3,740]</del>	19,431 [19,413] <del>3,642 [3,512]</del>	9,597 <del>9,614</del>	( )	( )				
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体  レイアウト変更等によ る座席数減。(30)					
		44,148.91㎡	5,423席 5,441席	4,574,000冊							
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要									
		27,540.62㎡	終 野 室 内 練 習 場 鉄骨造鋼板葺平屋建 2,025 ㎡								

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	888千円	893千円	図書購入費	—	6,064千円	23,456千円
	共 同 研 究 費 等	59,091千円	59,982千円	設備購入費	—	14,875千円	57,542千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		1,386千円	1,246千円	1,246千円	1,246千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、寄付金収入及び補助金収入等により維持する。					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

※国際連携学科等に係る申請大学の状況を記載し、連携外国大学の状況は含めないでください。

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	立命館大学							備考	
	既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入定員超過率		開年度
法学部 法学科	4	755	—	3,125	学士(法学)	1.02	昭和23年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	平成30年度入定員減(▲35人)
経済学部 経済学科	4	795	—	2,660	学士(経済学)	1.03	昭和23年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	平成29年度入定員増(260人)
国際経済学科	4	—	—	—	学士(経済学)	—	平成18年度		平成29年度より学生募集停止
経営学部 経営学科	4	675	—	2,570	学士(経営学)	1.01	昭和37年度	大阪府茨木市岩倉町2番150号	平成29年度入定員増(65人)
国際経営学科	4	150	—	600	学士(経営学)	1.00	平成18年度		
産業社会学部 現代社会学科	4	810	—	3,510	学士(社会学)	1.04	平成19年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	平成30年度入定員減(▲80人)
現代社会専攻 メディア社会専攻 スポーツ社会専攻 人間福祉専攻	4	760	—	3,280	学士(社会学)	1.05	平成19年度		平成30年度入定員減(▲10人)
子ども社会専攻	4	50	—	230	学士(社会学)	1.04	平成19年度		
文学部 人文学科	4	980	—	3,970	学士(文学)	1.02	平成16年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	平成28年度入定員減(▲200人) 平成29年度入定員増(75人)
理工学部 電気電子工学科	4	154	3年次12	616	学士(工学)	1.02	昭和24年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	平成29年度入定員増(12人)
機械工学科	4	173	3年次10	686	学士(工学)	1.00	昭和24年度		平成29年度入定員増(13人)
環境都市工学科	4	166	—	166	学士(工学)	0.93	平成30年度		平成30年度より学生募集停止(3年次編入学定員は平成32年度より学生募集停止)
都市システム工学科	4	—	3年次2	—	学士(工学)	—	平成16年度		平成30年度より学生募集停止(3年次編入学定員は平成32年度より学生募集停止)
環境システム工学科	4	—	3年次2	—	学士(工学)	—	平成6年度		平成24年度より学生募集停止
電子光情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成8年度		平成29年度入定員増(7人)
ロボティクス学科	4	90	3年次6	358	学士(工学)	1.07	平成8年度		

数理科学科	4	97	—	374	学士(理学)	0.98	平成12年度		平成29年度入学定員増(7人)
物理科学科	4	86	—	332	学士(理学)	0.98	平成12年度		平成29年度入学定員増(6人)
電子情報工学科	4	102	3年次 8	408	学士(工学)	0.97	平成16年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	平成29年度入学定員増(8人)
マイカ機械システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成16年度		平成24年度より学生募集停止
建築都市デザイン学科	4	91	3年次 16	354	学士(工学)	1.03	平成16年度		平成29年度入学定員増(21人)
国際関係学部						0.97			
国際関係学科	4	335	—	1,280	学士(国際関係学)	0.98	昭和63年度		平成29年度入学定員増(30人)
アメリカン大学・立命館大学国際関係学科	4	25	—	25	学士(グローバル国際関係学) (Bachelor of Arts in Global International Relations)	0.20	平成30年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
政策科学部									
政策科学科	4	410	—	1,540	学士(政策科学)	1.02	平成6年度	大阪府茨木市岩倉町2番150号	平成29年度入学定員増(50人)
情報理工学部						1.01			
情報理工学科	4	475	—	950	学士(工学)	0.97	平成29年度		
情報システム学科	4	—	3年次 10	—	学士(工学)	—	平成16年度		平成29年度より学生募集停止(3年次編入学定員は平成31年度より学生募集停止)
情報コミュニケーション学科	4	—	3年次 10	—	学士(工学)	—	平成16年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	平成29年度より学生募集停止(3年次編入学定員は平成31年度より学生募集停止)
メディア情報学科	4	—	3年次 10	—	学士(工学)	—	平成16年度		平成29年度より学生募集停止(3年次編入学定員は平成31年度より学生募集停止)
知能情報学科	4	—	3年次 10	—	学士(工学)	—	平成16年度		平成29年度より学生募集停止(3年次編入学定員は平成31年度より学生募集停止)
映像学部									
映像学科	4	160	—	620	学士(映像学)	1.05	平成19年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	平成29年度入学定員増(10人)
薬学部						1.05 0.92			
薬学科	6	100	—	600	学士(薬学)	1.05	平成20年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
創薬科学科	4	60	—	240	学士(薬科学)	0.92	平成27年度		

生命科学部						1.00			
応用化学科	4	111	—	382	学士(理学) 学士(工学)	1.01	平成20年度		平成29年度入学定員増(31人)
生物工学科	4	86	—	332	学士(工学)	0.99	平成20年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	平成29年度入学定員増(6人)
生命情報学科	4	64	—	248	学士(理学) 学士(工学)	0.93	平成20年度		平成29年度入学定員増(4人)
生命医科学科	4	64	—	248	学士(理学)	1.03	平成20年度		平成29年度入学定員増(4人)
スポーツ健康科学部									平成29年度入学定員増(15人)
スポーツ健康科学科	4	235	—	910	学士(スポーツ健康科学)	1.04	平成22年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
総合心理学部									
総合心理学科	4	280	—	840	学士(心理学)	1.09	平成28年度	大阪府茨木市岩倉町2番150号	
食マネジメント学部									
食マネジメント学科	4	320	—	320	学士(食マネジメント)	1.10	平成30年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
法学研究科									
法学専攻									
博士課程前期課程	2	60	—	120	修士(法学)	0.20	昭和25年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
博士課程後期課程	3	10	—	30	博士(法学)	0.16	昭和28年度		
経済学研究科									
経済学専攻									
博士課程前期課程	2	50	—	100	修士(経済学)	0.68	昭和25年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
博士課程後期課程	3	5	—	15	博士(経済学)	1.06	昭和39年度		
経営学研究科									
企業経営専攻									
博士課程前期課程	2	60	—	120	修士(経営学)	0.59	昭和41年度	大阪府茨木市岩倉町2番150号	
博士課程後期課程	3	15	—	45	博士(経営学)	0.06	昭和41年度		
社会学研究科									
応用社会学専攻									
博士課程前期課程	2	60	—	120	修士(社会学)	0.47	昭和47年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
博士課程後期課程	3	15	—	45	博士(社会学)	0.55	昭和49年度		
文学研究科									
人文学専攻									
博士課程前期課程	2	70	—	140	修士(文学)	0.56	平成18年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
博士課程後期課程	3	20	—	60	博士(文学)	0.68	平成18年度		

行動文化情報学専攻									
博士課程前期課程	2	35	—	70	修士(文学)	0.42	平成26年度	京都府京都市北区 等持院北町56番地 の1	
博士課程後期課程	3	15	—	45	博士(文学)	0.19	平成26年度		
理工学研究科									
基礎理工学専攻									
博士課程前期課程		50	—	100	修士(理学) 修士(工学)	0.74	平成18年度		
博士課程後期課程		6	—	18	博士(理学) 博士(工学)	0.77	平成24年度		
電子システム専攻									
博士課程前期課程		140	—	320	修士(工学)	0.77	平成24年度		平成30年度入学定 員減(▲40人)
博士課程後期課程		8	—	24	博士(工学)	0.33	平成24年度		
機械システム専攻								滋賀県草津市野路 東1丁目1番1号	
博士課程前期課程		140	—	280	修士(工学)	0.85	平成24年度		
博士課程後期課程		11	—	33	博士(工学)	0.39	平成24年度		
環境都市専攻									
博士課程前期課程		120	—	200	修士(工学)	0.82	平成24年度		平成30年度入学定 員増(40人)
博士課程後期課程		15	—	45	博士(工学)	0.26	平成24年度		
総合理工学専攻									
博士課程後期課程		—	—	—	博士(理学) 博士(工学)	—	平成8年度		平成24年度学生募 集停止
国際関係研究科									
国際関係学専攻									
博士課程前期課程	2	60	—	120	修士(国際関 係学)	0.62	平成4年度	京都府京都市北区 等持院北町56番地 の1	
博士課程後期課程	3	10	—	30	博士(国際関 係学)	0.76	平成6年度		
政策科学研究科									
政策科学専攻									
博士課程前期課程	2	40	—	80	修士(政策科 学)	0.74	平成9年度	大阪府茨木市岩倉 町2番150号	
博士課程後期課程	3	15	—	45	博士(政策科 学)	0.41	平成11年度		
応用人間科学研究科									
応用人間科学専攻									
修士課程	2	—	—	—	修士(人間科 学)	—	平成13年度	京都府京都市北区 等持院北町56番地 の1	平成30年学生募集 停止
言語教育情報研究科									
言語教育情報専攻									
修士課程	2	60	—	120	修士(言語教 育情報学)	0.73	平成15年度	京都府京都市北区 等持院北町56番地 の1	

テクノロジー・マネジメント研究科									
テクノロジー・マネジメント専攻									
博士課程前期課程	2	70	—	140	修士(技術経営)	0.76	平成17年度	大阪府茨木市岩倉町2番150号	
博士課程後期課程	3	5	—	15	博士(技術経営)	1.60	平成18年度		
公務研究科									
公共政策専攻									
修士課程	2	—	—	—	修士(公共政策)	—	平成19年度	京都府京都市中京区西ノ京東栴尾町8番地	平成30年学生募集停止
スポーツ健康科学研究科									
スポーツ健康科学専攻									
博士課程前期課程	2	25	—	50	修士(スポーツ健康科学)	0.82	平成22年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
博士課程後期課程	3	8	—	24	博士(スポーツ健康科学)	1.08	平成24年度		
映像研究科									
映像専攻									
修士課程	2	10	—	20	修士(映像)	0.70	平成23年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
情報理工学研究科									
情報理工学専攻									
博士課程前期課程	2	200	—	400	修士(工学)	0.81	平成24年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
博士課程後期課程	3	15	—	45	博士(工学)	0.59	平成24年度		
生命科学研究科									
生命科学専攻									
博士課程前期課程	2	150	—	300	修士(理学) 修士(工学)	0.87	平成24年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
博士課程後期課程	3	15	—	45	博士(理学) 博士(工学)	0.70	平成24年度		
先端総合学術研究科									
先端総合学術専攻									
一貫制博士課程	5	30	—	150	博士(学術)	0.22	平成15年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
薬学研究科									
薬学専攻									
博士課程	4	3	—	12	博士(薬学)	0.99	平成26年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
人間科学研究科									
人間科学専攻									
博士課程前期課程	2	65	—	65	修士(人間科学) 修士(心理学)	0.92	平成30年度	大阪府茨木市岩倉町2番150号	
博士課程後期課程	3	20	—	20	博士(人間科学) 博士(心理学)	1.15	平成30年度		

法務研究科 法曹養成専攻 専門職学位課程	3	70	—	210	法務博士 (専門職)	0.37	平成16年度	京都府京都市中京区西ノ京東栞尾町8番地	
経営管理研究科 経営管理専攻 専門職学位課程	2	80	—	160	経営修士 (専門職)	0.50	平成18年度	大阪府茨木市岩倉町2番150号	
教職研究科 実践教育専攻 専門職学位課程	2	35	—	70	教職修士 (専門職)	0.99	平成29年度	京都府京都市中京区西ノ京東栞尾町8番地	
大学の名称	立命館アジア太平洋大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員	編入 学 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入 学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
アジア太平洋学部 アジア太平洋学科	4	660	2年次 12 3年次 18	2,592	学士 (アジア太平 洋学)	0.97	平成12年度	大分県別府市十文字原1丁目1番	平成29年度入学定員増(60人)(アジア太平洋学部アジア太平洋学科)
国際経営学部 国際経営学科	4	660	2年次 22 3年次 31	2,648	学士 (経営学)	0.87	平成12年度		平成29年度入学定員増(60人)(国際経営学部国際経営学科)
アジア太平洋研究科 アジア太平洋学専攻 博士課程前期課程	2	15	—	30	修士(アジア太平洋学)	0.89	平成15年度		
博士課程後期課程 国際協力政策専攻 博士課程前期課程	3 2	10 45	— —	30 90	博士(アジア太平洋学) 修士(国際協力政策)	0.43 0.44	平成15年度 平成15年度		
経営管理研究科 修士課程	2	40	—	80	修士 (経営管理)	0.67	平成15年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。



## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年6月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<国際関係学部 アメリカン大学・立命館大学国際連携学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変 更 内 容 ・ 状 況 , 今 後 の 見 通 し な ど
	<p>大学設置基準第51条2項に規定されている連携外国大学との「協議の場」について 2018（平成30）年5月1日までの実施状況</p> <p>2018（平成30）年度入学者選抜のため、本学および連携外国大学であるアメリカン大学の教職員で構成される合同運営委員会を下記の通り計4回に亘り開催した。合同運営委員会においては、インターネット電話サービス（スカイプ）を利用したビデオ会議形式をいずれも採用した。</p> <p>第1回 2017年11月28日（日本時間午前9時から約1時間）： RUホーム学生として出願のあった計8名の出願者に対して、両大学合同による合否判定を行ない、慎重な審議の結果、計5名を最終合格者とする事で合意した。 本学側の出席者は国際関係学部長、入試担当副学部長以下、計7名の委員と事務担当者、アメリカン大学側の出席者はUndergraduate Admissions Office of EnrollmentのAssistant Vice Provostを含む計5名の教職員からなる委員および事務担当者であった。</p> <p>第2回 2017年12月14日（日本時間午前9時から約1時間）： AUホーム学生（Early Decision I）として出願のあった計15名の出願者に対して、両大学合同による合否判定を行ない、慎重な審議の結果、計9名を最終合格者、1名を入学資格確認のうえで合格とする事で合意した。本学側の出席者は国際関係学部長、入試担当副学部長以下、計6名の委員と事務担当者、アメリカン大学側の出席者はUndergraduate Admissions Office of EnrollmentのAssistant Vice Provostを含む計6名の教職員からなる委員および事務担当者であった。 1名については我が国の大学入学資格を満たさないことが合同運営会議の終了後に判明したため、不合格扱いとし、翌日アメリカン大学側にこれを通知、合同運営委員会として追認した。</p> <p>第3回 2018年2月9日（日本時間午前9時から約1時間）： AUホーム学生（Early Decision II）として出願のあった計6名の出願者に対して、両大学合同による合否判定を行ない、慎重な審議の結果、計3名を最終合格者とする事で合意した。本学側の出席者は入試担当副学部長以下、計7名の委員と事務担当者、アメリカン大学側の出席者はUndergraduate Admissions Office of EnrollmentのAssistant Vice Provostを含む計5名の教職員からなる委員および事務担当者であった。</p> <p>第4回 2018年3月2日（日本時間午前9時から約1時間）： AUホーム学生（Regular Decision）の出願者のうち、アメリカン大学側の選考により順位付けを行ない絞り込んだ30名に対し、両大学間で合否判定のための慎重な審議を行った。その結果、入学定員管理の観点から、最終的な入学手続き者数が3名から5名の水準に収まるように、アメリカン大学側が再度精査を行ない、最終合格者について改めて後日提案することとなった。本学側の出席者は国際関係学部長、入試担当副学部長以下、計8名の委員と事務担当者、アメリカン大学側の出席者はUndergraduate Admissions Office of EnrollmentのAssistant Vice Provostを含む計6名の教職員からなる委員および事務担当者であった。 3月9日、アメリカン大学側から、計12名を最終合格者としてほしい旨提案があり、合同運営委員会としてこれを承認した。</p> <p>なお、これらの運営委員会に加えて、アメリカン大学側のカリキュラム改革等に関連した履修方法・要件等の具体化、学生支援、入学選抜等の分野にわたり、本学教職員の訪問による直接協議（2017年6月、2017年8月、2018年1月）および来訪による直接協議・アカデミック・アドバイザーングに関する研修（2017年10月：アメリカン大学アカデミックアドバイザー他による）を実施した。</p>

<p>【変更点】 主としてアメリカン大学の全学教養教育改革に伴い、下記の点について変更を行なった。</p> <p>① 修了要件単位数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎科目 基礎科目38単位以上をアカデミックガイドブックの履修ガイドダンスにそって習得すること。</li> <li>・外国語科目 3単位以上 中級以上の日本語能力を取得すること（中級以上の日本語能力がある場合は免除される*設置の趣旨を記載した書類に記載）</li> <li>・地域研究科目 9単位以上 東洋およびアジア太平洋について3つ以上の科目を修得すること。3年次配当以上の科目をひとつ含むこと。</li> </ul>	<p>① アメリカン大学側の全学教養カリキュラム改変のため、すべての科目分野からアメリカン大学・コアカリキュラム要件を満たすように履修を行うこととした。</p> <p>外国語としての日本語の履修の適切性と具体的な中級レベル到達点の具体化の必要性に鑑み、下記のとおりとした。</p> <p>外国語科目は、次の各号に掲げる授業科目を除き、3単位以上を修得しなければならない。ただし、日本語能力試験N1レベルを有する者またはそれと同等の能力があると学部長が認められた者については、外国語科目3単位に代えて、基礎科目、基幹科目、リサーチメソッド科目、固有専門科目、地域研究科目、シニアキャップストーン科目または選択科目から3単位を修得しなければならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 日本語 I-1(総合)</li> <li>(2) 日本語 I-2(総合)</li> <li>(3) JAPN-114: Elementary Japanese I</li> <li>(4) JAPN-115: Elementary Japanese II</li> <li>(5) JAPN-214: Intermediate Japanese I</li> </ol> <p>・地域呼称の適切性および、単位数での履修要件の明確化を鑑み、下記のとおりとした。</p> <p>「地域研究科目9単位以上 東アジア・太平洋について3科目以上9単位以上習得すること。300番台以上の科目を3単位以上習得すること。」</p> <p>・アメリカン大学の全学カリキュラム要件の関係から、選択科目を3単位以上修得することとした。</p>
<p>② 科目履修</p>	<p>② 科目履修について</p> <p>・アメリカン大学における他学部・メジャーの科目履修について</p> <p>アメリカン大学にとって基礎教育等の分野は、学部というよりは大学全体での要件として考えられていることや、科目履修については学生に対して極力さまざまな学びの選択肢を与えたいというアメリカン大学側の学生の利益を重視した提案であることを勘案し、あらかじめ両大学ジョイント・コミッティが認めた科目群について、20単位をこえない範囲で履修を認めることとした。</p> <p>・AP試験制度・IB試験制度について</p> <p>アメリカン大学においては、アメリカの高等学校・大学接続教育で極めて一般的な制度であるAP試験制度（アドヴァンスド・プレースメントイグザム）、IB試験制度（インターナショナル・バカロレア・イグザム）が運用されている。現地の教育制度を尊重し、学生の学修条件を保証する観点から、アメリカン大学側入学者に対して、アメリカン大学が責任を持って運用し、ジョイント・ディグリー・プログラムにおけるアメリカン大学側の科目の単位として読み替えを行なうものとして、一部科目（合意された3科目）について運用を行うこととなった。</p>
<p>③その他</p>	<p>③その他：卒業証書の様式について</p> <p>設置認可の手続きの際にも指摘があった、卒業証書の様式については両大学から学位授与される「ジョイント・ディグリー」であることが明確となるよう、修正を行なった。</p>
<p>③アメリカン大学側開講科目等の今後の変更点について</p>	<p>③ アメリカン大学側開講科目等の今後の変更点について</p> <p>『設置の趣旨等を記載した書類』でも記載したとおり、アメリカン大学では2018年より、全学横断の教養教育改革（新コア・カリキュラム改革）が実施される予定であり、また、アメリカン大学の年度学年暦は秋セメスターから開始されるものであるため、5月1日時点でその状況・変更内容、担当体制について確定できていない部分がある。当該変更に伴う開講科目の変更、名称変更、担当者変更等については、丁寧に学生に説明するとともに、平成31年度の履行状況等調査において適切に報告を行なっていく予定である。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

・ 大学設置基準第51条2項に規定されている携外国大学との「協議の場」について、実施状況（開催日・議題等）を記載してください。

## (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

1. 本学では、学部・研究科に共通する教学に関わる事項について審議を行うための全学的機関として、教学委員会を設置している。教学委員会は、教学部長が主宰し、各学部・研究科の副学部長・副研究科長が出席し、毎年度の各学部・研究科の教学上の総括および次年度計画を策定・承認している。ここでは、FD活動についても毎年度の方針に基づく総括、次年度計画をまとめている。本学では、FD活動を「建学の精神と教学理念を踏まえ、学部・研究科・教学機関が掲げる理念と教育目標を実現するために、カリキュラムや個々の授業についての配置・内容・方法・教材・評価等の適切性に関して教員が職員と協働し、学生の参画を得て、組織的な研究・研修を推進するとともに、それらの取組の妥当性、有効性について継続的に検証を行い、さらなる改善に活かしていく活動」と定義している。教育の質的向上のために、各学部・研究科においてFD活動を行うとともに、教学部が主催して教学実践フォーラムや懇談会等を実施し取組を共有している。
2. 全学的には教育開発推進機構（以下「機構」という。）を設置し（「立命館大学教育開発推進機構規程」第2条）、その下に教育・学修支援センター（以下「センター」という）を置いて、学部・研究科の取組みを支援している（同第4条）。

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

1. 教学委員会は隔週月曜日に実施し、全学部・研究科の副学部長・副研究科長が出席している。（教学委員会規程）
2. 機構は、日常的運営を行うため、教育・学修支援センター会議（「センター会議」）を置いている（立命館大学教育開発推進機構規程第10条、第12条）。  
構成員は、教育・学修支援センター長（委員長）、教育・学修支援センター副センター長（副センター長）、教学部副部長（事務局長）、一貫教育部副部長、一貫教育部教育研究・研修センター長、機構所属教員（嘱託講師を除く）、教学部次長、機構長が任命する教職員（以上委員）である。

#### c 委員会の審議事項等

1. 教学委員会（教学委員会規程第2条）
  - (1) 教学の基本方針に関する事項（カリキュラム改革、毎年度の開講方針および教学総括等）
  - (2) 学部と研究科に共通する教学および教務事項 等
2. センター会議（立命館大学教育開発推進機構規程第11条）
  - (1) 機構およびセンターの活動方針および総括に関する事項
  - (2) センターが行う事業の基本方針に関する事項 等

### ② 実施状況

#### a 実施内容

1. 教学実践フォーラム、FD懇親会の開催
2. 新任専任教員対象の「実践的FDプログラム」の実施
3. 授業アンケートの実施、分析、授業改善に関わる担当者と受講生間の意見交換の実施
4. 学びと成長調査の実施、分析を通じた学生実態把握と教育上の課題の共有
5. 『ITL (Institute for Teaching and Learning) News』、紀要『立命館高等教育研究』を通じた教育に関する実践報告や授業研究の共有
6. 教学総括・計画概要の策定、自己点検・評価報告書の作成の支援を通じた教学PDCAサイクルの確立

#### b 実施方法

1. 教学実践フォーラム、FD懇親会の開催
  - ・留学の質保証、カリキュラム・マップ、ツリーの取組み、高等学校教育の変化、次期学習指導要領のもとでの授業の変化、および大学入試の方向性について
2. 新任専任教員対象の「実践的FDプログラム」の実施
  - 新任の専任教員を対象として、ガイダンス、ワークショップ、発表会、コンサルテーション等を1年間（最長2年間）実施
3. 授業改善に関わる担当者と受講生間の意見交換の実施
  - ・個別授業の授業改善、組織的な教学改善、学生への説明責任を目的として、大学全体で統一した書式により授業アンケートを実施。Webコースツールのアンケート機能も活用する。各授業の中盤にWebコースツールや「コミュニケーション・ペーパー」「インタラクティブシート」等を活用した授業改善に向けた意見交換を実施（希望する教員）
4. 学びと成長調査の実施、分析を通じた学生実態把握と教育上の課題の共有
  - ・学生の学びと成長調査（アンケート）設計、実施、分析と教学委員会への報告
5. 『ITL (Institute for Teaching and Learning) News』を通じた実践の共有および紀要『立命館高等教育研究』の発行を通じた教育に関する実践報告や授業研究の共有
6. 教学総括・次年度計画概要、自己点検・評価報告書の作成の支援を通じた教学PDCAサイクルの確立
  - ・「教学総括」や「自己点検・評価報告書」作成の支援

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<平成29年度実績>

1. 教学実践フォーラムの開催
  - ・4回開催、のべ約160名参加
2. 新任専任教員対象の「実践的FDプログラム」の実施
  - ・51名が修了。修了式を実施し、修了証を授与。
3. 授業改善に関わる担当者と受講生間の意見交換の実施
  - ・授業アンケートは毎セメスター、全授業で実施。アンケート回収率は、講義系30.7%、外国語57.7%、小集団35.6%（前期）、講義系24.8%、外国語51.7%、小集団31.4%（後期）。
4. 学びと成長調査の実施
  - ・2016年度より全学生を対象に毎年度調査を実施している。
5. 『ITL (Institute for Teaching and Learning) News』を2回発行し、紀要『立命館高等教育研究』を1回発行。
6. 教学総括・次年度計画概要の作成、自己点検・評価報告書の作成の支援を通じた教学PDCAサイクルの確立
  - ・教学総括・次年度計画概要は2018年度第2回教学委員会にて承認。
  - ・各学部、研究科の要望に応じて教育開発推進機構教員が専門的知見を活かして支援を行った。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. 教学実践フォーラムをつうじて共有した優れた教育実践を授業改善や学生支援に活用
2. 先進的な教育実践と学部・研究科固有の組織的なFD活動との連携を促進
3. 教員に期待する教育力量の向上および教育活動の促進
4. アンケート結果の分析をもとに学部での授業改善、教育改善の取組に反映
5. 実施結果の分析による教育内容の改善
6. 教育を取り巻く動向や課題、実践事例の共有と普及、教育に関する理論や実践の研究と成果の発信
7. 毎年度の開講方針に基づく点検・評価、次年度に向けた改善課題の明確化、自己点検・評価活動をつうじた教育内容や方法の改善促進

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・毎年度、各セメスター終盤に実施（授業アンケート）
- ・各セメスターの5～6週目（Webコースツール、「インタラクティブシート」等によるアンケート）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・各授業および分野等で分析し、①各教員には個別分析結果を返却、②学生には結果全体の報告書をホームページに掲載すると同時に各学部・研究科事務室等の窓口で閲覧できるようにしている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

これまで前例のない学士課程における国際連携学科の円滑な実施準備のため、7-(1)に挙げたような、訪問、招聘、インターネット会議等多数の会議を実施して、日・米の高等教育制度や両大学の持つ制度的、文化的背景を尊重しつつ、プログラムの詳細部分の具体化に努めるとともに、アカデミック・アドバイジング等の分野について研修を実施するなどして準備に努めた。設置認可を受けて、2017年9月にはジョイント・ディグリー実施のための協定書を正式締結、2018年3月には上記準備協議を受けて協定書の一部改正を行なった。

##### 1. 入学

前例のない「ジョイント・ディグリー」の学士学位プログラムであるため、その特性を、一般的な留学やダブル・ディグリーとの差異を明確にしながらかくプログラム周知・広報を行なった。初年度は広報期間の短さや、プログラムの認知度不足の課題等もあり、立命館大学側からは5名の入学者ととどまったが、6月に入学するアメリカン大学側の学生募集にあっては、250名の出願があり、国境を越えた「ジョイント・ディグリー」や、西欧的、伝統的な国際関係学を越えて、アジアの大学と連携して開設される「グローバル国際関係学」の学位プログラムに関するアメリカ側での関心の高さが窺われた。

今後、国内でもジョイント・ディグリーの更なる認知度の向上に努めるとともに、丁寧なプログラム広報を実施して、十分な学生確保に努めることとしたい。

##### 2. 新入生オリエンテーション・初年次教育

入学後は、国際連携学科生に特化したオリエンテーションを設定・実施し、プログラムの特徴や留意点についての説明、アドバイザーとの懇談、アメリカン大学のアカデミック・アドバイザーとのオンラインでのガイダンス実施などを行ない、4年間の学修計画を円滑に設計できるよう、配慮を行なった。また、通常作成する「Academic Handbook」に加えて、アドバイザー紹介や、キャリア支援、渡米準備情報等も網羅した「Program Guidebook」をアメリカン大学と共同で作成し、上記オリエンテーションの実施に役立てた。

初年次教育にあっては、既設のグローバル・スタディーズ専攻の学生とともに、「Introductory Seminar」を受講させ、大学での学び方について丁寧な指導を行なうとともに、学生同士のコミュニティづくりに努めている。

##### 3. 学生支援

米国での学修に向けた十分な準備が可能になるよう、入学決定後、入学前教育（立命館大学プレ・エントランズデー等）の機会を設定し、アドバイザーによる対面ならびにオンラインでの学修指導を行なって、とりわけ英語能力や、国際関係学についての基礎的な理解の伸長に努めるとともに、入学後も、同様にアドバイザーが対面型での学修指導・支援を継続的に行って、円滑に学修をスタートできるよう、支援している。

日米間での学費・滞在費等や奨学金制度の差異に対応し、適切に学生を支援していく観点から、立命館大学で学修を開始する学生（RUホーム学生）に対し、「立命館大学 海外留学チャレンジ奨学金」（アメリカン大学での学習中、 Semesterあたり50万円を支給）および「立命館サクラ・オナーズ奨学金」（同Semesterあたり75万円を支給）を新設し、学生の修学意欲を喚起し、また支援することとした。また、同RUホーム学生のうち海外留学生については、一部学費減免を適用して、学修を支援することとしている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・「2018年度自己点検・評価報告書」を平成30年12月に公表予定

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開（平成30年12月を予定）

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成30年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）を受審

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成30年 7月 29日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。